【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2007-523138(P2007-523138A)
【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)
【年通号数】公開・登録公報2007-031
【出願番号】特願2006-553648(P2006-553648)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/81　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/02　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/368　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/73　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/34　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/81
Ａ６１Ｋ　8/02
Ａ６１Ｑ　19/00
Ａ６１Ｋ　8/368
Ａ６１Ｋ　8/73
Ａ６１Ｋ　8/34
Ａ６１Ｋ　8/06
Ａ６１Ｐ　17/10
Ａ６１Ｋ　8/22

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月14日(2008.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水アルコールゲル分散剤形態の、化粧品として許容されるスキンケア組成物であって、サリチル酸又はその塩と、アクリロイルジメチルタウリン又はその塩のコポリマーの形のゲル化剤とを含み、キサンタンガムを含有する場合には三塩化鉄を含有しないスキンケア組成物。
【請求項２】
前記ゲル化剤が、アクリロイルジメチルタウリンの塩と他のビニルモノマーとのコポリマーである、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記塩がアンモニウム塩である、請求項２に記載の組成物。
【請求項４】
前記ゲル化剤が、アクリロイルジメチルタウリンアンモニウム／ビニルピロリドンのコポリマー、アクリロイルジメチルタウリンアンモニウム／ベヘネス－２５メタクリレート

のコポリマー、及びアクリロイルジメチルタウリンアンモニウム／ビニルホルムアミドのコポリマーからなる群から選択される、請求項１から３までのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項５】

０．１～５％ｗ／ｗの範囲の量のゲル化剤を含む、前記請求項のいずれかに記載の組成物。

【請求項６】

前記水アルコールゲルが、共溶媒として１０％～５０％ｗ／ｗの$C_{1\sim6}$アルコールを含む、前記請求項のいずれかに記載の組成物。

【請求項７】

前記共溶媒がエタノール及び／又はイソプロピルアルコールである、請求項６に記載の組成物。

【請求項８】

有効成分がサリチル酸である、前記請求項のいずれかに記載の組成物。

【請求項９】

スキンケアに有用な１種又は複数のさらなる局所有効成分を含む、前記請求項のいずれかに記載の組成物。

【請求項１０】

サリチル酸又はその塩を含む水アルコールゲルを含み、キサンタンガムを含有する場合には三塩化鉄を含有しない、化粧品として許容されるスキンケア組成物中での、アクリロイルジメチルタウリン又はその塩のコポリマーのゲル化剤としての使用。

【請求項１１】

サリチル酸又はその塩と、アクリロイルジメチルタウリン又はその塩のコポリマーの形のゲル化剤とを含み、キサンタンガムを含有する場合には三塩化鉄を含有しない、化粧品として許容される、水アルコールゲル分散剤形態のスキンケア組成物を含浸させた繊維質の基材を含む製品。

【請求項１２】

前記繊維質の基材が、繊維質基材の１０～３０重量％、好ましくは１５～２５重量％、最も好ましくは１８～２２重量％の範囲の量のスキンケア組成物で含浸される、請求項１１に記載の製品。